

令和 4年度 (3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価 担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	環境総務課
	施策	地球温暖化対策の推進		電話番号	087-839-2388
	基本事業	低炭素社会に向けた行動の展開		事業実施主体	市
	事務事業	緑のカーテン事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要
 緑のカーテンは、つる性植物を建物の壁面にはわせ、夏の強い日差しを和らげるもので、地球温暖化防止に大きく役立つことが期待できる。緑のカーテン・コンテストを実施し、市民、事業所等に緑のカーテンへの取組を募集し、優秀なものを表彰するとともに市の広報紙等で紹介し、啓発・普及を推進する。24年度から、公共施設を部門に加え、より一層の取組みの促進を図っている。また、25年度からは県と連携して実施している。環境業務センター等で緑のカーテンを実施するとともに、全庁的な拡大を図っている。

概要
 環境学習として緑のカーテン作り方講座を開催し、積極的に地球温暖化対策に取り組むよう促す。また、市有施設等において緑のカーテンを実施するよう各局にも依頼するなど、推進に努める。

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	----------	---------	------------

【事業の目的】

対象(何を)	市内の住宅、事業所及び学校・保育所・公共施設
意図(どのような状態にしたいか)	緑のカーテンを普及させることにより、温室効果ガス(二酸化炭素)の削減等、省エネルギーの推進を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
緑のカーテン説明会実施回数	回	7	0	4	10	10

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
緑のカーテン講座受講者数	人	目標値			100	100	
		実績値			67		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 3年度の緑のカーテン講座の受講者数は、新型コロナウイルス感染防止のため出前講座の中止があり、目標値を下回ったが、講座の参加者においては、地球温暖化防止の取組が図られている。 (目標達成度)						(達成度) 67.0% 23点	
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	2,507	838	815	817
(事業費)	[千円]	231	90	60	62
(職員人件費)	[千円]	2,276	748	755	755

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

3年度の緑のカーテン講座の受講者数は、新型コロナウイルス感染防止のため出前講座の中止があり、目標値を下回ったが、講座の参加者においては、地球温暖化防止の取組が図られている。今後も地球温暖化防止に貢献するため、受講者数の増加に努める。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

県の緑のカーテンコンテストも令和 2年度末で廃止となったが、県の育成講習会を活用するなど、今後も県等との役割分担連携の下、緑のカーテンの啓発普及に取り組む。

令和 4年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進
	施策	地球温暖化対策の推進		電話番号	087-839-2394
	基本事業	低炭素社会に向けた行動の展開		事業実施主体	市
	事務事業	電気自動車等普及促進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要
本市地球温暖化対策実行計画に基づき、市域における温室効果ガス排出量の抑制を図るため、走行時に二酸化炭素等を排出しない電気自動車を公用車として率先的に導入し、車体ラッピングにより市内を走らせるなど、環境負荷の少ない電気自動車の普及促進を図る。

年度概要
車体ラッピングを施した公用電気自動車を、市内を走らせることで電気自動車の普及啓発を行うとともに、環境展等で紹介することで市民に電気自動車への理解を深めてもらう。また、市が設置した市内3か所にある道の駅（近隣地を含む）の急速充電設備の運用を行うとともに、充電インフラの情報をHP等で提供する。

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務
--------	----------	---------	--------


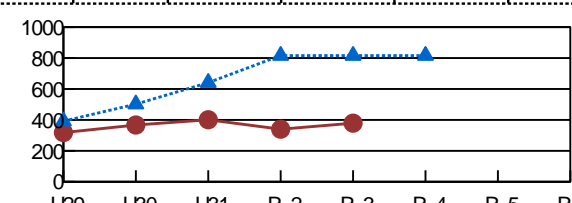

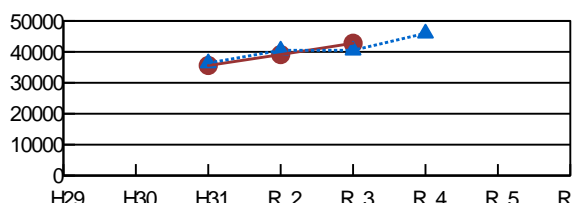
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	環境に負荷の少ない電気自動車を多くの市民に周知することにより、自動車の新規購入や買換えの際における電気自動車購入の意識付けを行う。また、市が設置した急速充電器の運用を行うとともに、市内の充電設備の情報提供を行うことなどにより、電気自動車の普及を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
電気自動車（公用車）の走行距離	km	41,751	45,824	44,853	104,000	104,000
公用車における電気自動車導入数（累計）	台	9	9	9	11	9

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
市内における電気自動車保有台数	台	目標値	641	816	816	816	816
		実績値	401	340	379		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市内における電気自動車保有台数について、令和3年度は、当初の目標を437台下回った。（R3 目標816台 実績379台） 							(達成度) 46.4% 16点
市内における次世代自動車保有台数	台	目標値	36,381	40,500	40,500	46,000	
		実績値	35,600	39,122	42,788		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市内における次世代自動車保有台数について、令和3年度は、当初の目標を2,288台上回った。（R3 目標40,500台 実績42,788台） 							(達成度) 105.6% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	9,288	3,303	3,186	5,596
（事業費）	[千円]	1,700	1,058	921	1,066
（職員人件費）	[千円]	7,588	2,245	2,265	4,530

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

車体ラッピングを施した公用電気自動車を市内を走らせ、環境展等で紹介することで市民に電気自動車への理解を深めた。電気自動車の新たな購入は見送った。
また、市が設置した3か所（道の駅及びその近隣地）の急速充電設備の運用を行うとともに、充電インフラの情報をHP等で提供した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

市内における電気自動車等保有台数は増加してきており効果は出ていると思われるが、費用対効果の点では見直しの余地があると考えられる。普及啓発にはすでに保有する9台の電気自動車を活用することとし、今後の社会状況を注視しつつ、当面新たな電気自動車の購入は見送る。